



偉人 坪内逍遙

逍遙人

逍遙の日常生活は窮屈すぎるくらいにきちんとしていました。起床、就寝、食事はもちろん、人を訪問したり、集会に出るにも、時間の観念が正確でした。繊細な神経を持ち、人の好き嫌いがあっても、決してそれを外に表すまいと抑制していました。

仕事に関しては、演劇や文学に対する思いをはっきりと打ち出し、常に理想を持ち、その実現に向かって努力を惜しまない姿がみられました。

